



カトリック長崎大司教区
広報委員会
〒852-8114
長崎市橋口町 1-1
長崎大司教館内
Tel. 095-843-3869
Fax 095-842-4460
振替口座 01880-5-2699
発行人
山田 良 秋
印刷所
株式会社 インテックス

| 祈りの意向 | 祈りの意向 |
|--|--|
| ・教皇 自殺の誘惑にさらされている人々が、地域社会での必要な支援やケアを受け、愛に触れて、人生の美しさに心を開くことができるように ・日本 隣国である日本と韓国の教会が、福音宣教のために助け合い、未来に向けてよりよい協力関係を築いていくことができるように | ・教皇 自殺の誘惑にさらされている人々が、地域社会での必要な支援やケアを受け、愛に触れて、人生の美しさに心を開くことができるように ・日本 隣国である日本と韓国の教会が、福音宣教のために助け合い、未来に向けてよりよい協力関係を築いていくことができるように |

大村殉教祭 愛を持って向き合う大切さテーマに



9月23日(火)、大村市さくらホールにおいて長崎大司教区主催、大村殉教祭実行委員会(植松・水主町教会)運営の大村殉教祭が執り行われました。

今年のプレゼンテーションでは、水主町教会出身、長崎純心大学の坂本久美子学長による記念講演が行われました。大村の殉教者たち」と題した講演では、大村純忠に始まった大村のキリスト教信仰が、純忠の死と同年に始まったキリシタン禁教令により弾圧された歴史とともに、大村の殉教地をたどる「大村の希望の巡礼」についてお話しいただきました。



講演では、放虎原殉教地をはじめ、洞塚や首塚、鈴田牢といった大村の巡礼地の写真とともに弾圧の厳しさを振り返りました。そして最後には、「理解されなくても、愛に根差した真理にとどまること」つまり、暴虐や差別などに対して復讐するの

ではなく、「いつか愛を持って、相手に伝わりますように」という思いを持ち続けることの大切さについて、「殉教者たちは、信仰のもとに血を流すことで、このことを証しました。私たちも状況や方法は異なるけれども、殉教者たちに倣うことは可能です」と説かれました。

また、「殉教者たちは弾圧に復讐で応じるのではなく、愛の真理に忠実でした。そのことに思いを馳せ、現代においても日々の生活の中で向けられる負の感情に対し、敵意を持って対峙するのではなく、愛を持って対応できるよう努めましょう」と呼びかけられました。

今年から大村の殉教地巡礼に替えて、会場ロビーに大村の殉教地を紹介するコーナーを設け、殉教地のパンフレットを置き、殉教地パネルを展示しました。

記念ミサは、中村倫明大司教の司式のもとに執り行われました。聖体拝領時には、植松と水主町の教会学校の子どもたちが

教区「カテキスタの集い」

浦上教会を会場に130人



9月23日(火)、浦上教会で教区信仰教育委員会主催のカテキスタ養成部門主催の「カテキスタの集い」が開催された。当日は、残念ながら長崎北地区の大村殉教祭と日程が重なったため、一部の地区が参加できないところもあったが、長崎全地区から130人弱の参加者が浦上教会に集った。

中村大司教様は講話で「希望を持つことの大切さについて話され、その後、各地区で2024年度に



カテキスタ基礎コースを修了した21人の修了式を執り行った。カテキスタ養成が始まった時に当時の担当者たちが思い描いていたものが、コロナ禍を越えてようやく初めて

実現でき、感無量であった。

昼食の後、ゆるしの秘跡についての話し、特にカテキスタとして子どもたちのゆるしの秘跡を手伝うときなどの注意点を確認し、ゆるしの秘跡にあずかり、最後に主の食卓を皆で囲み、大きな恵みのうちにそれぞれの場に派遣されていた。配布したパンフレットには、被爆80年にあたって、浦上周辺の被爆遺構の説明も掲載した。

カテキスタ養成部門
担当 山内啓輔

「神と一つに」を貫く生涯

9月28日(日)、中町教会の守護の聖人である聖トマス西と十五殉教者の節目には、盛大に教区の行事として執り行われた。殉教祭は、これまで教区主催として長崎南地区が担当してきたが、今年から中町小教区主催の行事となり、9時ミサの中で行われることになった。

このことについて山脇守主任神父は、「教区の行事や地区の行事が多く、役員の負担が大きくなっており、中町単独で殉教祭を行うこととした。決して、十六聖人を



軽んじているわけではなく、再来年の列聖40周年の節目には、盛大に教区の行事として執り行いたい」と経緯を話された。

ミサに先立ち、庭園のご像の前に中村倫明大司教による献花が行われ、殉教者がたたえられた。大司教は、参列していた生まれて間もない赤ちゃんとお母さんにも祝福を与えられた。聖堂では、「聖トマス西と十五殉教者の玄義によるロザリオの祈り」が唱えられた。

ミサの冒頭に大司教は、「この長崎市の中心にあつて、福音宣教のために奉仕し、それぞれの使命を果たしている中町教会に感謝します。これから使命を果たしてほしい」と励まされた。説教を務められた山脇主任神父は、殉教者たちが願ってやまなかった「神様と一つになること」を貫く生涯を選んだことに

希望の年に

平戸ザビエル記念教会主任 川内和則 (平戸地区長)

「全世界に行つて福音を宣べ伝えなさい」。今年長崎教区は2025年の聖年を迎え、さまざまな取り組みを行つていきまきてキリスト教を日本に初めて伝えました。我

を訪れ、巡礼して教会を巡っています。

東洋の使徒と呼ばれる聖フランシスコ・ザビエルは福音宣教の種を持って、遠くヨーロッパをた



1550年、平戸にやつてきたザビエルは、領主、松浦隆信の許可をもらつて平戸でも宣教活動を開始します。ザビエルは都合3度平戸を訪れています。以来平戸はキリスト教と

が国へのキリスト教伝来の幕開けです。ザビエルは鹿児島で宣教活動を始めますが、南蛮船を追つて平戸まで足を延ばすことになりました。

教徒も増えていき、町も栄えていきます。ザビエルは平戸で約100人に洗礼を授けたといわれています。種は芽を出し、成長し、信仰が平戸各地に定着しました。

しかし同時に、他宗教との衝突や迫害も起こります。特に禁教令が出されてからはさらに弾圧がひどくなり、各地で殉教者を生み出します。迫害時代にも彼らは潜伏し、信仰を守り、耐え抜きました。現在平戸はたくさん教会と殉教地があり、フランシスコ・ザビエルの残した遺産を大切に守っています。

平戸ザビエル祭は2025年聖年の確かな記念となります。この大切な行事にぜひ皆様のご来場をお願いいたします。ザビエルが伝えた希望の灯が教会と皆様を照らし、導かれることをお祈りいたします。

平戸ザビエル祭
12月14日(日) 12時~受付
平戸文化センター
駐車場あり

13時 講演
講師・古巣 馨神父
14時 記念ミサ
司式・中村倫明大司教



平戸ザビエル祭は、2025年聖年の確かな記念となります。この大切な行事にぜひ皆様のご来場をお願いいたします。ザビエルが伝えた希望の灯が教会と皆様を照らし、導かれることをお祈りいたします。

平戸ザビエル祭は、2025年聖年の確かな記念となります。この大切な行事にぜひ皆様のご来場をお願いいたします。ザビエルが伝えた希望の灯が教会と皆様を照らし、導かれることをお祈りいたします。

中学校に入学してから2年間お世話になった社会科の先生が、退職される際にご自身の遺言として生徒だった私たちに語られた言葉。「便利さという美名(びめい)に隠された浪費をやめよう」▲長い歴史と文化の上に持続可能な独自の社会とその仕組みを形作ってきた日本が、特に第2次大戦後欧米諸国の合理主義の影響と生活様式の変容から「使い捨て」の文化に染まることを師は危惧されていた。それは物における「使い捨て」だけでなく、人や国さえも「使い捨て」になつてしまつたという危惧ではなかったか▲便利さは私たちの生活をより有益なものとするが、度の過ぎた便利さは過剰に自然や社会に負担を科し、不毛に消費する「使い捨て」に終わる。それは過剰した人気、他を上回る利得・利益法整備の不備から不正な手段で得られた自他国による日本での生産活動に至るまで▲それは「便利であること」が一部の有力者の自己満足欲求を満たす隠れ蓑(みの)にすり替えられ、日本が持つ真の豊かさや国内外の勢力から奪い取られ、捨てられることを予見しているかのよう。

先達が知恵と工夫を凝らして守り、奪われ浪費されないために尽力してきた日本を私たちはどう繋いでいくのだろうか▲死者の月。今は亡き先人たちが、日本と日本に生きる誠実な人々を愛し、遺(のこ)してきた真摯な思いを追想したい。彼らの永遠の安息を願う。(熊)

「希望の巡礼者」聖年の実りとして 新しい祈禱書を準備

この聖年の期間中、教区典礼委員会では新しい祈禱書を教区内で一斉に用いることができるよう準備をしてきた。

年初に試用版を発行し、これまでにいくつかの小教区で実際に使用していただき、すべての教区内司祭と修道院にも配布し、感想や意見、希望を収集し、それを参考に、当初のものにかなりの修正を加え、編集作業を終えた。

「今後20年間は一字も変わらない」を掲げ、何回も校正と修正を繰り返して、ようやく印刷の工程に入った。各小教区から必要部数を募って(受付は終了)、3万5千部を初版として発行予定。

伝統を引き継ぎつつも使い勝手のいい祈禱書を目指した。一回り大きめのサイズ(B6判)にし、文字も大きく、すべて



▶長崎教区の新しいカトリック祈禱書(イメージ)

を口語体にし、先唱と会衆の区切りを明確に。既存の祈禱書の祈りも大いに参考に、「病人の聖体拝領」「病者の塗油」も収録。さまざまな祈りの場面で、会衆が司祭とともに祈ることができるようにした。

「長崎の信徒にとって聖書と同じくらい大切なものです」と印刷会社に伝えている。希望の巡礼者「聖年の実りとして「祈りの長崎」の支えとならんことを願って。

(教区典礼委員会)

11月24日開催

「聖歌隊の祝祭」について

教区典礼委員長 平本義和

「希望の巡礼者」聖年の関連行事として、バチカンから11月21日(金)23日(日)に「聖歌隊の祝祭」を開催するようにと勧告されています。長崎では皆が集まりやすい11月24日(月・祝)に開催することにしました。当初、会場を城山教会としていましたが、駐車場や集まりやすさから浦上教会に変更することにしました。



11月24日といえば、前教皇フランシスコの長崎での訪日ミサからちょうど6年になります。その時には、子どもたちを含め1200人が聖歌隊として集まり、ビッグNスタジアムで力強い賛美の奉仕をしていただきました。あの時の感動と熱意を再びということとで、当時の聖歌隊参加者や聖歌に関心のある

方々に参加を呼びかけたい。まず、「みんなで歌う」。訪日ミサで歌った聖歌を当時の映像を眺めながら歌いましょう。当日用いた聖歌集の第一校が未使用のまま残っています。あれから6年も経っていますので、一部練習も必要かもしれません。

次に、「みんなで聴く」。有志のグループに、教会の豊かな賛美の宝箱からいくつかの聖歌を披露してもらうことにしています。賛美は自らがさげられることも大事ですが、さげられる賛美に心を合わせることが大切な要素です。

午後からは、「新しい歌を主に歌え」のとおり、みんなで新しい聖歌を何曲か練習いたします。もちろん、14時から行われる中村大司教様司式の歌ミサの聖歌も練習いたします。聖堂にいるみんなが聖歌隊ミサで聖堂いっぱい賛美がふれることを期待しています。14時からのミサにはどなたでも参加できます。これに合わせ、聖歌で神とわたしが一つに、集まったみんなが一つに、そしてことばと心が一つになります。

ご懇談では、ご利用者の声に丁寧に頷きいたわりのお言葉をかけられます。お会いした方からは「生きていてよかった、一生の宝物、今日の日の感謝します」など喜びの感想が聞かれた。中腰の姿勢で耳を傾けておられるご様子が印象に残った。限られた人数での奉迎となり心残りではあったが、何よりも担当課の方々と恵の丘一帯のご協力のもと無事に終えることができ、感謝している。

長崎県担当課より天皇皇后両陛下が「ながさきビース文化祭2025」の参列と「慰霊の旅」に来県される際、原爆ホームご訪問予定とのお話があった。警備や設えなど視察や確認が頻回にあり厳重な警備態勢であった。限られた人数を登録し玄関ロビーで2回にわたる奉迎、ホールでは8名のご利用者にご懇談が予定された。

天皇皇后両陛下と愛子内親王殿下 原爆ホームをご訪問

入所者の方々と懇談される天皇一家。恵の丘長崎原爆ホームで。11月13日(日)長崎市三ツ山町(写真 工藤直通/アフロ)

9月13日当日、ご利用者と職員は緊張の中、玄関に降り立った両陛下と愛子さまはとても穏やかなお顔だった。

恵の丘長崎原爆ホーム 堤房代

核なき世界基金

被爆地からのチャレンジ
みんなで
いのちと地球を守ろう！
<https://nuclear-free.net/>

2025年度

第2回

司祭評議会

9月8日(月) 10時から大司教館で行われた。承認事項は以下の通り。

に基づき、司祭年金委員会として、岩崎康彦師と大瀬良直人師を選出した。
⑥司祭評議会の書記として大水文隆師が選出された。
また、報告事項は次の通り。

①木鉢小教区の小瀬戸集会所の位置付けについて、同小教区と教区代表者で継続的に話し合う。
②司祭年金基金の原資を確保する目的で、配当金がある終身保険にまず代表役員1名が加入する。

③各地区担当者で構成する「デジタル推進室」を設置する。
④引退司祭生活支援委員会(通称トピア会) 規程を改定する。同会の目的は引退した長崎教区の聖職者が自らの召命を全うできる環境づくりを検討し、司祭評議会の委任を受けて、決定事項を具体化し実行へと推し進めていくこと。

⑤「教区司祭の年金保険規約」

第2回 教区顧問会

9月8日(月) 13時から大司教館で行われた。承認事項は以下の通り。

①植松教会から申請された納骨堂建設および小教区互助基金の貸付を承認する。
②不動産取得基金特別会計2025年度第二次補正予算が承認され、旧ロザリオ幼稚園(長崎市曙町)解体関連工事とカトリックセンター解体費用を支出する。

③教区法人事務所が管理する不動産のうち、旧大阪聖ヨゼフ会黒崎修道院、旧大瀬戸教会、旧ロザリオ幼稚園について、それらの活用または処分について法人事務所が具体的検討を進める。

④司祭年金基金特別会計の年金原資拡充の一案として代表役員の終身保険加入を承認する。
⑤引退司祭生活支援委員会からの提案で、引退司祭居室の整備として、長崎カトリック神学院の一部改修により実現する案を承認する。
⑥信徒発見の聖母像について、大浦天主堂保存委員会からの提案で、信徒発見の聖母像の保守修復を目的とした処置(クリーニング、剥落止め、穴をふさぐ)を承認する。

報告事項は以下の通り。
*伊王島共生幼稚園の地盤沈下に伴う補修工事が7月8日完了した。
*マリア館納骨堂(浦上小教区)の工事が8月8日完了した。

赤城墓地
小家族様
分譲中
長崎石彫 岩永
095-862-2469



砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社
西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 剛
本社 〒857-1166 佐世保市木風町146番地
TEL (0956) 31-8268



カリス通信

学校に関わるリスクと保険のご紹介

11月号

昨今の学校に関わるリスクは複雑化し、いじめ、試験の採点ミス、職員のパワハラやアカハラ、児童・生徒へのセクハラおよびサイバー攻撃とリスクは多岐にわたります。今回は、学校に関わるリスクに対応するための保険をご紹介します。

<学校教育活動賠償責任保険>

学校教育活動の遂行または侵害行為(※)に起因して、学校(被保険者)に対して、損害賠償請求がなされ、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対し、保険金をお支払いする保険です。

<サイバーリスク保険>

サイバーリスク保険は、次の3つの補償により、事業活動を取り巻くサイバーリスクを包括的に補償します。

①損害賠償責任に関する補償 ②サイバーセキュリティ事故対応費用に関する補償 ③コンピュータシステム中断に関する補償(オプション)

カトリック共済システム

有限会社カリス

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 日本カトリック会館
連絡先 ☎0120-77-0033

<学校教育活動に関する事故事例>

- 学校が生徒間のいじめを把握できず、いじめられた生徒が転校を余儀なくされ、被害生徒から精神的苦痛を受けたとして損害賠償請求をされた。
- 卒業試験の採点ミスで、本来合格とすべき学生に対し、不合格の通知を行っていたことが発覚した。留年を余儀なくされたとして、保護者から損害賠償請求をされた。
- 部活動の学生が、顧問の先生からセクハラにより精神的苦痛を受けたとして、学生とその保護者から損害賠償請求をされた。

カリスでは、学校に関わるリスクと保険についてご案内をしています。ご不明点や詳細につきましては、カリスまでお問い合わせください。

※本ご案内は「学校教育活動賠償責任保険」と「サイバーリスク保険」についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてあります。保険約款によりますが、ご不明の点がありましたらカリスまでお問い合わせください。

私たちが、大澤阿紀子 大西 晃 毛利玲子
お守りします。服部秀昭 川口 薫神父(顧問)



カトリック共済システム 検索 25TC-002815 (2025年9月作成)
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社

リスク・補償に関して
お気軽に
お問い合わせください

2025 聖年に行く

ローマ・アッシジ・ルルド巡礼

名誉大司教 高見 三明

聖年の教区行事



ラテラノでは、40 5 年前にベトロ岐部が司祭に叙階された同じ小聖堂でミサをささげ、聖マリア大聖堂ではフランシスコ教皇さまのお墓の前で祈りました。チヴィタヴェッキアの日本殉教者の教会でミサをささげ、聖パウロの殉教地も訪れました。アッシジでは、馬小屋の発祥の地グレッツォをはじめ聖フランシスコのゆかりの地、お墓、聖クラ教会などを巡礼しました。その間 7 日にはローマで少年カルロ・アクーティスの列聖式が行われ、アッシジの司教館前の教会に安置されていた同聖人のご遺骸の前で祈ることができました。

聖年の教区行事の一環として 9 月 1 日 (月) から 13 日 (土) まで、参加者 28 人と添乗員 2 人でローマ・アッシジ・ルルドへ巡礼しました。

ローマ着の翌日、聖ベトロ広場での教皇一般謁見に感動のうちに参加し、わたしも直接ごあいさつできました。バチカン図書館では天正遣欧少年使節が描かれた壁画を見、翌日から 4 大バジリカのラテラノ、聖マリア、聖ベトロ、聖パウロの各大聖堂を巡り、聖なる扉をくぐりました。



9 月 1 日、聖アウグスチノ修道会第 188 回総会の開会ミサを司式し、兄弟たち二人ひとりとあいつを交わし、食卓を共にしてくださった教皇レオ 14 世は、以前と変わらぬ飾らず、穏やかで気さくなわたしたちの兄弟でした。

私はこれが何か知っています

聖アウグスチノ修道会 日本殉教者地区長 松尾 太

9 月 1 日〜18 日、ローマにある聖アウグスチノ修道会本部で総会が行われ、日本地区から松尾太師(城山教会)が参加した。期間中、ババ様と会員たちとが交わる機会があり、謁見での出来事を分かち合っていた。

レオ 14 世との謁見の時、踏み絵のレプリカをプレゼントしようとして、その箱を少し開けると、ババ様は蓋と箱の隙間に手を差し込まれて、踏み絵を覆っていた薄い紙を持ち上げられました。その隙間から「あつ



▲上と右端：ローマで教皇レオ 14 世の謁見 ▲左：アッシジ・聖フランシスコ大聖堂前に参加者全員が集合 ▲右：アッシジ・聖カルロ・アクーティスの像 ▼下：ルルド・世界各地から集まった巡礼者たちによるローソク行列



聖年・司教団公式巡礼

菊地枢機卿ローマ小教区着座式

2025 年聖年「希望の巡礼者」司教団公式巡礼が 10 月に行われた。中村倫明大司教を団長とするルルド・パリ・ローマのコースと、前田万葉枢機卿を団長とするアッシジ・ローマのコースの二つがあり、この巡礼には、菊地枢機卿ローマ小教区着座式への参加も組まれていた。着座式は 10 月 9 日 (木) サン・ジョバンニ・レオナルディ教会で行われ、日本からの参加者とともに喜びを分かち合った。

《城山教会ニュースから転載》

レオ 14 世ってどんな人？ など

今田昌樹神父にインタビュー

教皇レオ 14 世がかつて来崎されたことは皆さんご存知の通りかと思うが、このほど、教皇が聖アウグスチノ修道会の総長を務められた時代、その間の 10 年間に同会日本分管区長として関わりがあった今田昌樹神父へのインタビュー記事「レオ 14 世ってどんな人？ など」が 2025 年 9 月 7 日付城山教会ニュースに掲載された。転載の許可を得て、一部を紹介させていただきます。

●新教皇誕生を知ったのは？

コンクラーベが始まり、新教皇様が選ばれるのは、まだ先のことだろうとたかをくくっていたら、5 月 9 日の朝、柴田神父(葛西教会、聖アウグスチノ修道会)から LINE で「大変なことに。教皇様に選ばれた」と入っていて、メディアの取材依頼の電話が殺到することになりました。(略)

●昨年 1 月に会って

今、私は聖アウグスチノ修道会日本地区の秘書的役職を担っています。その全体の会議が昨年 1 月ローマでありました。会議の休憩時間にプレヴォスト枢機卿(現教皇レオ 14 世)が現れて、遠くから見ていたら、私に気付いて目を向けておられたので、自分から近づいていって挨拶したんです。ほぼ 14 年ぶりの対面でしたが、以前と全然変わっていないし、しゃらなかつたので、何かほっとしたのを覚えています。

●印象的だった総長選挙

2001 年 9 月のアウグスチノ会総会で、総長選挙が行われました。総会が 2 週間目に入ってからこの選挙が行われたのですが、なかなか決まらず、2 日目だったか、現総長アレハンドロ神父様(教会ニュース発行時点)とプレヴォスト神父様がまさに票を分け合う状況になって、これ

無事浦上駅に着いたんですが、総長様はいやな顔一つせず、笑顔でおいでくださって、子どもたちにも会って、私は救われた思いでした。

2 回目は 2008 年のトマス金鰐次兵衛神父の列福式でした。私は養成担当として東京にいました。私たちが作った粗末な食事まで喜んで食べていただいて、ありがたいなと、そんなことがあったのを覚えてますね。長崎では列福式前日の城山教会での列福前夜祭ミサで、聖堂は超満員でした。また、列福式翌日には神浦扇山で列福感謝ミサをささげ、その後信徒と一緒に次兵衛岩へ登られました。

●総長のお話しぶりは？

いろんな会議で、総長様のお話を伺いながら、あるいはミサの説教とかで、繰り返し感じてきたのは、非常に良くまとまっているし、内容もかりやすいということです。また、イタリア語もスペイン語も非常に上手です。

●新教皇に期待すること

プレヴォスト枢機卿様は、頻繁にアウグスチノ会本部を訪れて、兄弟たちと一緒に、昼の一日のメインの食事をいただいております。

教皇になられてからは、これを続けることはできないでしょう。しかし、教皇になっても、私がアウグスチノ会の兄弟の一人だということを犠牲にすることはできません」と明言されています。

「交わり」それをラテン語で、コムニオといいます。修道共同体の「交わり」に奉仕するのは修道院長の務めですが、もともと大きなレベルで、司教様とか、もちろん教皇様とかは、「教会の交わり」それに仕えていく。そういう

意識を、レオ 14 世は、強く持っています。今までの発言から感じるのは、本当に「教会の一致」それは聖アウグスチノが非常に大切になさったことですが、いろんな人がいる教会で、その一人一人がかけがえのない人として大切にされる、この大きな家族が、家族という名前に値するような歩みをみんなで続けて行く、そういう教会共同体であるように、責任ある立場に置かれている人は、そのために力を尽くしていく。レオ 14 世はこれをはっきりと認識しておられると思いますし、「教会の交わり」が、「世界の平和と一致」のために大きな力となるように、強く意識しておられると思います。

世界はいろんなことで、かつてよりも、分断が進んでいますね。こういう社会の動きの中で、犠牲になるのは、社会的に弱い立場に置かれている人たちです。そういう人たちが一人一人大切にされていく。レオ 14 世の意識もきくと、その辺にあらわれるのだろーと思います。

考えてみれば、ババ様こそ、世界のモラルリーダーではないですか。その意味で今の時代に必要な人として、選ばれたのがレオ 14 世でしょう。

フランシスコ教皇様は、この点でも目立った方でしたし、その後継者として、プレヴォスト師はフランシスコ教皇様に非常に期待されて、目をかけられました。「世界の分断化が進む中で、世界が神様の御心になつたあるべき姿へと、変えられていくように力を尽くしてください」と、やはり期待されるころが非常に大きいですね。

優秀な方ではあっても、その務めはどんなに大変なことかと思いますが、神様のお恵みをいっぱい受けて、神様のために、みんなのために、力を尽くしていただきたいと思います。アウグスチノ会の一人の兄弟としては、心からそう願っています。

第1回のご自慢大会

神の栄光を現すために!!

9月21日(日)長崎市長崎市民センターにおいて、長崎南地区評議会女性部の第1回のご自慢大会「響け!! 天使の歌声」が開催された。

「わたしは主のはしめです」(ルカ1・38)のみことばを掲げて活動している南地区女性部が、さらに「ともに歩む」ことができるようにと呼び掛けた。ある役員の「わたしはバレーできないし面白くない」との言葉に、



個人の部の優秀賞に小ヶ倉教会「舟唄」の山岡千代子さん、大浦教会「天使の糧」の上田佐知子さん、岳教会(飽の浦小教会)「アイノカタチ」の山田ゆりさんの3人が輝き、特別賞に愛宕教会「男道」の脇内まち子さん。団体の部の優秀賞に「天使にラブソングを」の馬込教会(右下の写真)が輝き、そして地区長賞に「ジャンボリー



「何をやるにしても、すべて神の栄光を現すためにしなさい」(1コリ10・31)とのみことばが最初に朗読され、個人の部10組、団体の部8組が出場した。

司祭団ソフトボール大会

会場設営や昼食準備に感謝

9月30日(火)、毎年恒例の司祭団ソフトボール大会が開催された。今年

2026年家庭委員会カレンダー「ともにあゆむ」を発行



教区家庭委員会では、今年もまた、家庭内福音宣教の一環として「ともにあゆむ」と題したカレンダーを制作いたしました。

信仰生活をよりよく生

マリア・セベリナ
糸永ナミ子修道女

(純心聖母会)



9月18日逝去。88歳。平戸市生まれ。初代会長シスター江角との関わり、信仰深い家庭の雰囲気、周りの方の祈りの支え、兄弟姉妹の召命の姿などに影響され、入会を

き、終生誓願後、鹿児島純心の寮監を務めた。その後、長崎原爆ホームの医療事務を任された。若い時から病気がちであったが、与えられた奉仕を懸命に果たしていた。98年からは、鹿児島で鹿児島教区尊兄の糸永真一司教の身の回りの世話などに務めた。

広島教区百年史

歴史書として編纂



どの司祭が集った。地区長の山内実師による歓迎の言葉、新司祭洪燦基師の選手宣誓で大会が開幕。

第1試合は、長崎対佐世保・平戸、空気を読めない。佐世保・平戸のヒットが途切れず、14-2の大勝。第2試合は五島対長崎、接戦の末、山口師のサヨナラヒットで10-9、五島が長崎を下す。



こちらにも接戦となり、粘り強くヒットをつないだ五島が13-12のサヨナラ勝ち、優勝を飾る。ハッスルのあまり、足がもつれてしまう人もいたが大きなけが人も出ることなく、大司教様の祝福で大会は無事閉幕となった。

新刊良書

★世界のクリスマス伝説

訳：大久保エマ
絵：三木節子

話、小さなイエスさまも登場するお話など、親しまれ、語りつがれてきた世界各地の伝説を7話集めました。小学中級から女子パウロ会、税別1200円。

★クリスマスのねがいごと

文：M・クリスティ
ナ・バトラー／画：ティナ・マクノートン
／訳：女子パウロ会

クリスマス

ふどう園

▼自死された方々のため
の追悼ミサ 11月8日(土)
14時、西坂・聖フィリッ
ポ教会。ゆりの会主催。
教区人権委員会協力。
問合せ先・鳥巢シオリ
TEL 090・9488・7931

感謝

長崎大司教区
●野口新様(浦上)
故マリア野口絹子様
右の方からご寄付・ご
芳志を賜りました。お礼
とご報告を申し上げます。

大司教館事務所 業務時間のご案内

《住所》カトリック長崎大司教館内
〒852-8114 長崎市橋口町1番1号

【1階】

総合受付 日～土曜日 毎日 08:00～18:00
電話 095-843-4188 (代表)
FAX 095-843-4322法人事務所(会計事務室) 日曜日は休み
祝祭日を含む月～土曜日 08:30～17:30
電話 095-846-4248 FAX 095-848-8310

【2階】

教区本部事務局・諸委員会 土・祝日は休み
日～金曜日 08:30～17:30
電話 095-842-4450 FAX 095-842-4460生涯養成委員会 日・月・祝日は休み
火～土曜日 08:30～17:30
電話 095-841-7731 FAX 095-842-4460広報委員会 土・日・祝日は休み
月～金曜日 08:30～17:30
電話 095-843-3869 FAX 095-842-4460
(2025年4月から)

注文家具の店 家庭祭壇・聖具・祭壇・長椅子・朗読台

佳織木工所

《家庭祭壇ギャラリーOPEN パンフレットもごさいます。》
〒857-0032 佐世保市宮田町7-7
☎0956 (23) 1867 代表 ヨハネ 濱口 知博

株式会社サンフールド・ロさま麺工場

長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

右記URLから
ご注文できます

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ドミニコ 溝口悦雄
〒858-0926 佐世保市大湯町511番地3
TEL(0956)47-4380

世界平和へ祈りを…

明治石材

業務内容
お墓建立
納骨堂販売
お墓のリフォーム
霊名彫刻

長崎本店 長崎市長栄町13-1
大村店 大村市赤佐古町287番地
HP http://meijisekizai.shopinfo.jp

電話 (095)846-3598
電話 (0957)50-3008

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ヨハネ 西村勇二

長崎市辻町7-18 TEL(095)844-4011
24時間営業 FAX(095)843-9896

消化器内科・循環器内科

医療法人 平田クリニック

院長 ヨゼフ 平田哲也
通所リハビリテーション
上野町グループホーム・サービス付き高齢者住宅
長崎市上野町1-5 TEL 095-845-6175